

国立小児病院
木公尾道斗

提供胚の移植（平成13年10月10日）

最も重要な問題は、不妊治療に関する狭義の医学的諸事項ではなく、生まれてくる子どもの幸福をどのように確保するかにあると考えます。血縁幻想が強いわが国においては、いずれの親とも遺伝的つながりを持たない提供胚により出生する児は、提供精子、卵子により出生する児に比べて、自己の identity の問題や家族による保護体制の不備等から不幸となるより高いリスクを持つことを委員会で確認していただきたいと思います。この前提の下では、精子、卵子提供に比し、胚提供はより高いハードルを必要とすることは言を待ちません。